

「再就職支援サービス(アウトプレースメントサービス)の利用・検討に係る調査」  
調査報告結果レポート

令和2年9月8日  
イー・マネージ・コンサルティング協同組合  
調査担当 大塚、宮川

当組合にて、市場動向調査を目的として、以下の内容にて「再就職支援サービス」※について調査した結果の概要を報告いたします。

※再就職支援サービスは、一般的には「アウトプレースメントサービス」といわれる職業紹介事業者が提供するサービスの一種で、企業等と法人契約を行い、退職する従業員に対して再就職を支援します。活用事例は成長・収益を上げている企業の企業体質強化や不採算事業など従業員の雇用維持が難しくなった際の従業員への最後の福利厚生サービス、あるいは従業員の積極的なセカンドキャリア支援の一環などがあります。

**[実施した調査の概要]**

<b>調査名</b>	再就職支援サービス(アウトプレースメントサービス)の利用・検討に係る調査
<b>調査実施時期</b>	令和2年6月15日(月)～7月31日
<b>調査方法</b>	郵送による調査票(設問数13)の発送、返信用封筒で回収。
<b>対象企業</b>	全国の上場企業・中堅企業 1000社
<b>回答数</b>	20社(電話による回答、会社名匿名の回答は集計上除外した)

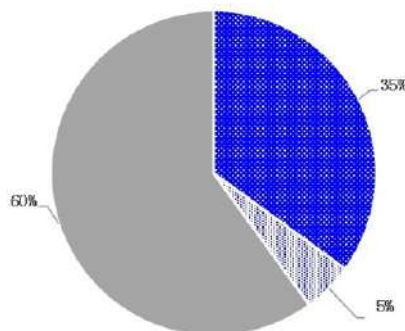
各問の回答集計結果は以下のとおりです。

**I. 貴社の人事制度構築・運用ルール等について**

問1. 貴社での定年退職以外の退職ルールの整備状況について(択一)

回答企業のうち、「1. 整備している」、「2. 検討中」は合わせて全体の4割で、回答企業の6割は「3. 該当する制度・ルールはない」と回答している。

問1 選択肢	比率
1. 整備している	35%
2. 検討中	5%
3. 該当する制度・ルールはない	60%
計	100%



問1. 従業員の転職支援として活用されている機関等について(複数回答)

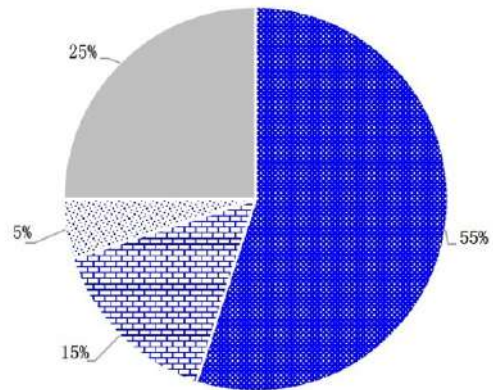
回答は、「ハローワーク」、「その他(再就職会社、その他)」、「雇用開発センター」の順で多かった。

問2の選択肢	回答率
1. ハローワーク	35.3%
6. その他(再就職支援会社、その他)	35.3%
2. 雇用開発センター	17.6%
4. 自社グループ内人材会社	11.8%
3. 東京しごとセンター	0.0%
5. 商工会議所	0.0%
計	100.0%

### 問3 再就職支援サービス(アウトプレースメントサービス)について(択一)

回答企業のうち、「よく知っている」、「ある程度は知っている」の合計で7割を占め、回答企業は概ね『再就職支援サービス(アウトプレースメントサービス)』を知っていると見える。その反面が、「聞いたことはあるがあまり知らない」、「ほとんど知らない・聞いたことがない」の回答が合わせて3割あった。

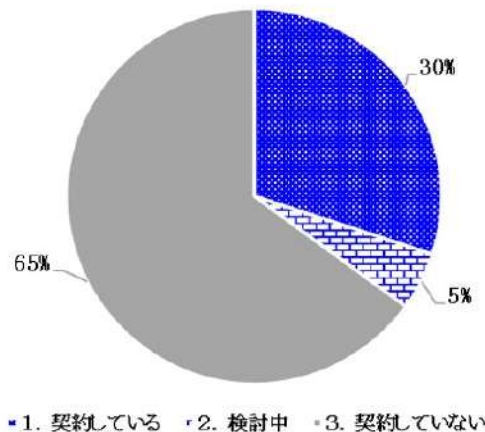
問3の選択肢	比率
1. よく知っている	55%
2. ある程度は知っている	15%
3. 聞いたことはあるがあまり知らない	5%
4. ほとんど知らない・聞いたことがない	25%
合計	100%



### 問4 再就職支援会社との契約について(択一)

再就職支援会社との契約状況について、「1. 契約している」、「2. 検討中」を合わせて回答の3割強であり、全体の6割強は、「3. 契約していない」と回答している。なお、「契約していない」との回答には、スポット契約のみ契約していると回答した会社を含んでいる。

問4の選択肢	比率
1. 契約している	30%
2. 検討中	5%
3. 契約していない	65%
合計	100%



## II. 貴社の再就職支援サービスの利用・検討状況について

問 5 恒常的にあるいは今後1年以内に再就職支援会社を利用する可能性について(択一)

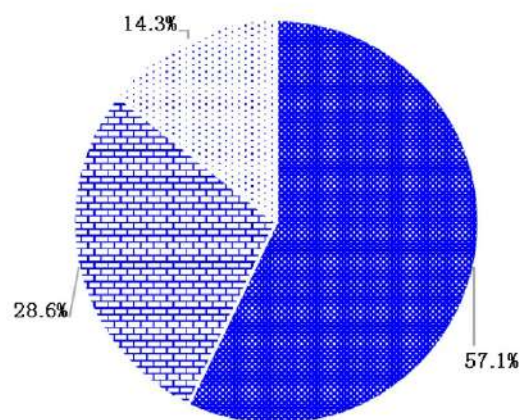
回答企業の8割強が「1. 利用する(可能性がある)」と回答しており、概ね回答企業の多くが利用する(可能性がある)と考えている。

問5の選択肢	回答率
1. 利用する(可能性がある)	85.7%
2. 利用する予定はない・わからない	14.3%
合計	100.0%

問 6 再就職支援サービスを利用(検討)した理由(択一)

再就職支援サービスを利用(検討)した理由について、回答企業の約6割が「従業員の過剰感・ミスマッチ対策」と回答し最も多かった。その他、約3割が「4. 従業員の福利厚生として恒常的制度を整備」、1割強が「会社の経営方針・事業領域の見直し」と回答している。回答率第1位と第3位、合計約7割は「消極的な理由による再就職支援」、回答率2位の約3割は「積極的な理由による再就職支援」といえる。

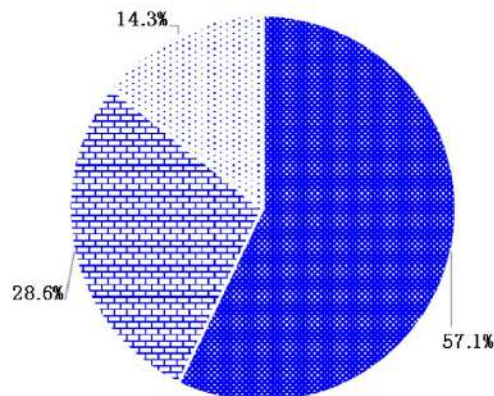
問6の選択肢	比率
3. 従業員の過剰感・ミスマッチ対策	57.1%
4. 従業員の福利厚生として恒常的制度を整備	28.6%
1. 会社の経営方針・事業領域の見直し	14.3%
2. 会社業績または事業部門業績の悪化、事業の縮小	0.0%
5. その他	0.0%
合計	100.0%



問 7-1 再就職支援会社の選定方法について(択一)

再就職支援会社の選定方法として、回答企業の約6割が「3. 再就職会社を複数選定し、本人が再就職支援会社を選択できるようにした」と回答し最も多かった。「1. 複数の再就職支援会社から1社を決定」と回答した企業は約3割、「その他」と回答した約1割であった。その他の内容として「選定方法は検討中」と記述している。

問7 設問(選定方法)	回答率
3. 再就職会社を複数選定し、本人が再就職支援会社を選択できるようにした	57.1%
1. 複数の再就職支援会社から1社を決定	28.6%
4. その他	14.3%
2. 複数の再就職支援会社に声をかけ、コンペで1社を決定	0.0%
合計	100.0%



#### 問 7-2 再就職支援会社を[選定する際、特に重視したこと](複数回答)

再就職支援会社を選定する際、特に重視したことについては、「d. 再就職支援会社の得意な業界・分野」が回答率4割強で最も多いものの、他の4つの項目も各約3割が回答している。これらの回答結果より、再就職支援会社を選定する際、様々な視点があることが推察される。

問7-2 選択肢	回答率
d 再就職支援会社の得意な業界・分野	42.9%
a 契約価格	28.6%
b 施設・支援拠点の地域	28.6%
c カウンセラー/コンサルタント体制の充実度・専門性	28.6%
e 再就職支援会社の知名度、企業規模	28.6%
f その他	0.0%
合計	

#### 問 8 契約(検討)した再就職支援会社について(複数回答)

契約(検討)した再就職支援会社を具体的な会社名を記載して回答してもらった結果は以下のとおりである。回答会社中8割強が「パソナ」を回答し最も多かった。その他、「エイチ・アール・シー・キャリア」、「パーソナルキャリアコンサルティング」、「リクルートキャリアコンサルティング」の3社がそれぞれ回答率約4割、「ライトマネジメント(マンパワー・ジャパン)」の回答率は約3割であった。

主要な再就職支援会社(回答が多い順)	回答率
パソナ	85.7%
パーソナルキャリアコンサルティング	42.9%
リクルートキャリアコンサルティング	42.9%
エイチ・アール・シー・キャリア	42.9%
ライトマネジメント(マンパワー・ジャパン)	28.6%
その他	14.3%
キャリアバンク	0.0%
リーヘクトハリソン(アデコ)	0.0%
合計	

問9 契約(検討)した再就職支援会社に対して期待すること(対組織支援分野)

対組織支援分野(主として人事部等組織に提供されるサービス)として再就職支援会社に期待することを第1位から第3位まで回答した結果を集計したのが下記図表である。

このなかで、第1位では「③従業員に対する個別キャリアコンサルティング」が回答率が約4割で最も多く、第2位まで含めると回答企業の8割強がこの選択肢を回答している。第1位回答で2番目に多いのは「①人事制度構築・運用などに関するアドバイス・コンサルテーション(法的解釈を含む)」で、回答企業の約3割がこの選択肢を回答している。

「②キャリア開発支援を行う従業員に対する研修、講習、トレーニング」は第1位で回答した企業はなかったが、第2位、第3位ではいずれも回答率が約4割で、第3位までを含めると回答企業の約8割がこの選択肢を回答している。

問9の選択肢	回答率		
	第1位	第2位	第3位
③ 従業員に対する個別キャリアコンサルティング	42.9%	42.9%	0.0%
① 人事制度構築・運用などに関するアドバイス・コンサルテーション(法的解釈を含む)	28.6%	0.0%	14.3%
② キャリア開発支援を行う従業員に対する研修、講習、トレーニング	0.0%	42.9%	42.9%
④ 再就職支援会社の有用性・契約する妥当性についての情報提供	14.3%	14.3%	28.6%
⑤ その他	14.3%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	85.7%

問10 契約(検討)した再就職支援会社に対して期待すること(対人支援分野)

対人支援分野で再就職支援会社に対して期待することを第1位から第3位まで回答した結果を集計したのが下記図表である。

このなかで第1位では「④再就職支援会社からの求人情報の提供量/検索ツールの利便性等」が回答率約4割で最も多く、第3位までを含めると回答企業の8割強がこの選択肢に回答している。第1位で2番目に回答が多かったのは「①転職における本人への心理的ケア」で回答率は約3割であるが、第2位、第3位で回答する企業はなかった。この選択肢については、再就職支援会社に対して期待することとして重要な視点と考える企業と、再就職支援会社にはあまり期待していない企業の両方があると推察される。

「③自律した求職活動を実現するための指導/アドバイス(履歴書・職歴書などの作成指導、面接トレーニング、求人情報の検索指導等)」は、第1位での回答率は1割強にとどまるが、第2位、第3位を含めると回答企業全体の約9割が回答している。

問10の選択肢	回答率		
	第1位	第2位	第3位
④ 再就職支援会社からの求人情報の提供量/検索ツールの利便性等	42.9%	28.6%	14.3%
① 転職における本人への心理的ケア	28.6%	0.0%	0.0%
③ 自律した求職活動を実現するための指導/アドバイス(履歴書・職歴書などの作成指導、面接トレーニング、求人情報の検索指導等)	14.3%	28.6%	57.1%
⑤ 再就職を実現するまでの平均期間、実現率	14.3%	0.0%	0.0%
② 本人の適性・指向性の確認、ライフプラン・マネープラン・キャリアプランなどの設計指導/アドバイス	0.0%	42.9%	14.3%
⑦ 再就職支援者の再就職先・仕事環境等に対する評価・満足度	0.0%	0.0%	14.3%
⑥ 再就職支援者の再就職支援会社に対する評価・満足度	0.0%	0.0%	0.0%
⑧ 転職決定後のフォローアップ(入社的心構え、転職後の早期離職防止対策等)、定着率(離職率)	0.0%	0.0%	0.0%
⑨ 独立開業を希望する者への支援内容	0.0%	0.0%	0.0%
⑩ その他	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

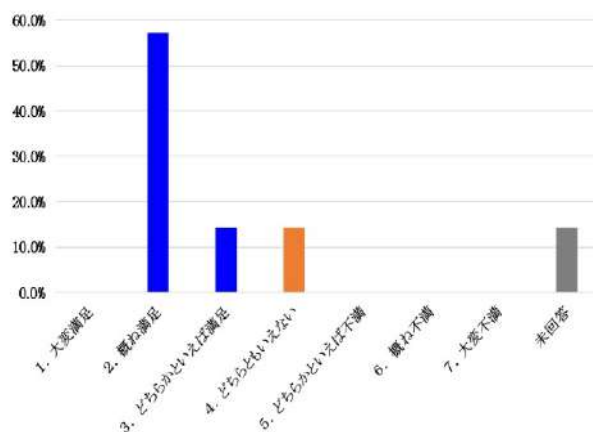
### 問11. 契約した再就職支援会社に対する利用後の評価（択一）

契約した再就職支援会社に対する利用後の評価の回答結果は以下のとおりである。  
なお評価は、大変満足から大変不満までの7段階とした。

本問の回答企業中、「概ね満足」と「どちらかといえば満足」の回答率の合計は約7割で、契約した再就職支援会社に対する利用後の評価としては概ね満足と回答している。「どちらかという不満」、「概ね不満」、「大変不満」を回答した企業はなかった。

評価の理由として、「支援内容に配慮があり当社側の事情をよく理解して対応してくれた」（概ね満足と回答した企業）、「迅速な対応、活動報告も滞りなく実施していただいている」（概ね満足と回答した企業）、「再就職先決定することもあるが、単なる人生相談に終わっていることも多い」（どちらともいえないと回答した企業）などの記述があった。

問11の選択肢	回答率
1. 大変満足	0.0%
2. 概ね満足	57.1%
3. どちらかといえば満足	14.3%
4. どちらともいえない	14.3%
5. どちらかといえば不満	0.0%
6. 概ね不満	0.0%
7. 大変不満	0.0%
未回答	14.3%
合計	100.0%



### 問12. 円滑な労働移動を実現するために有用と思われること（複数回答）

円滑な労働移動を実現するために有用と思われることを選択肢から回答いただいた結果は以下のとおりである。「1. 様々な助成金制度の利便性向上」の回答率や約6割で最も多く、次いで「3. 解雇に関する法的根拠をもった運用ルールの明確化」、「4. 会社都合退職者が発生した場合に停止される雇用関連助成金の運用修正」の順で回答が多かった。

問12の選択肢	回答率
1. 様々な助成金制度の利便性向上	57.1%
3. 解雇に関する法的根拠をもった運用ルールの明確化	42.9%
4. 会社都合退職者が発生した場合に停止される雇用関連助成金の運用修正	28.6%
5. 会社都合離職、自己都合離職による雇用保険の支給差の撤廃	14.3%
2. 自治体、公共団体、外郭団体の経験者採用の拡充	0.0%
6. その他	0.0%
合計	

問13. 人事制度構築・運用等において、業界団体・支援機関・自治体・国等へ要望すること

自由記入式で回答をいただいた。「出向での職務開発ニーズが高いが、現状出向受入先は少ない。出向受入の助成やインセンティブがあれば有難い」などの記載があった。

調査結果の概要は以上です。

本件に関するご不明点・お問い合わせについて、下記までご連絡ください。

[お問合せ先]

イー・マネージ・コンサルティング協同組合

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8-14-17 アルテール新宿 207

調査担当 大塚 竜夫 TEL 03-3366-3673 Email: info@e-mc.jp